

日本一長寿県記念
日本一のステンレス道祖神建立

12月27日 竣工



道祖神彫刻(これをもとにステンレスにて制作)

- 制作者 中嶋大道先生
- 素材 ステンレス
- 大きさ 高さ 約2.5m、横幅 約1.6m
- 場所 北神苑 手水東側

古くより安曇野は素朴な石神「道祖神」が多く祀られて今に伝えられています。道祖神は子供の成長、子孫繁栄、健康、交通安全、地域の守り神など種々のご利益があると言われられています。長野県は平成25年厚生労働省統計発表の平均寿命が男女共に全国一の長寿県となりました。

この度、道祖神の里である安曇野の祖神種高神社の境内に、日本一の長寿県を記念し、これからも心身ともに健康で長寿にいられるようにとの祈りを込めて、ステンレス彫刻創始者中嶋大道先生の制作により、現代の道祖神をお祀りすることとなりました。



発行所
穂高神社社務所
創刊 昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話 0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

平成26年交通安全
一般家庭に
折りつつけ60周年

新授与品

道祖神守



道祖神神札

◎中嶋大道先生プロフィール



1944年長野県穂高町（現安曇野市）に生まれる。木彫をベースに創作活動を始める。後に金属溶接に興味を持ち、それを学ぶ。鉄、アルミニウム、真鍮などの金属素材に挑戦、試行錯誤を繰り返しながらステンレスにたどりつき『ステンレスを溶接して作品を作り出す』独自の世界を構築。1983年に日展彫刻部に入選（以降9回入選）するなど、活躍を重ねて毎年多くの作品展に出展。ステンレスから作り上げる巨大な昆虫や動物など、見て、さわって、感じることのできる彫刻を中心に、現在も精力的に創作活動を継続している。

時を超えて「結びの石神」

昔、神社境内に祀られ、願いが叶うまで数知れず熱心にお祈りした事から、お百度詣り・お千度詣りなどと親しまれ信仰されてきた千度石、三石に

一、過去に感謝

二、現在・今に祈願

三、未来・明日に結願

の祈りを込めて入魂いたしました。

過去から未来へ、子々孫々へ祈りの和の心が継承される事を願い、御影石一石の上に石神三石を置いております。

時を超えて幸せへと導く「結びの石神」であります。

鶴は幸せを招き、長寿又平和の鳥と言われ、

飛ぶ姿に希望を！

お手に

ふれてお祈りください。



安曇野道祖神まつり

本年も恒例となりました第29回安曇野道祖神まつりを8月24、25日に開催いたしました。

一日目はJR穂高駅前にて道祖神まつりを斎行し、その後穂高神社参集殿にて講演

会を行いました。前日からの雨が心配されましたが、祭典時刻には雨も止み、蒸し暑さは残ったものの、比較的過ごしやすく祭典を斎行することができました。

講師先生として信濃金石拓本研究会 副

会長・日本石仏協合理事 石田 益雄先生

と松本市立博物館 館長 窪田 雅之先生

をお招きし、約65名の参加者のもと講演を

賜りました。中信地区の道祖神の歴史や紀

年銘について大変興味深いお話で、参加者

からも熱心な質問が寄せられていました。

二日目は午前8時

に穂高神社に集合し、

正式参拝、記念撮影

の後、松本市四賀地

区の道祖神の巡拝研

修をいたしました。

四賀地区は双対道

祖神や文字碑の他に、

子孫繁栄を願う特徴

的な形の道祖神も多く存在してました。

新しく整備されている道路が多く、旧街道

沿いに建てられている道祖神は、バスを降

りた後数百メートル歩かなければならない

という事もありました。腰の曲がった老婦

人の方も一生懸命歩いて下さり、16体の道

祖神を予定通りすべて見学することができ

ました。

さて、来年は第30回の節目の年を迎えま

す。故西川久壽男先生の意思を受け継ぎ、

先輩方の今までの努力、そして安曇野市役

所、安曇野市観光協会、安曇野市教育委員



会の協力を仰ぎ、ここまで継続していくことができました。次回は節目の年にふさわしい企画を考えていきたいと思っておりますので、ご関係皆様の益々のご協力、ご鞭撻をお願いいたします。

第14回子供相撲大会

去る9月7日、子供祭宵祭に合わせ子供相撲大会が開催されました。

当大会は、平成12年より開催され、国技である相撲を楽しみながら、地域の子供たちの連帯感と融和を高め、子供の健やかな成長をお祈りする大会です。市民タイムス、株式会社エイワ、株式会社小宮山製菓、有限会社原野製菓にボールペンやお菓子など提供頂き、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区の育成会の方々にも協力のもと行われています。また、大会に併せて参集殿で穂高東中学校、穂高南小学校の生徒たちの絵画展も開催しております。

大会前日、穂高神社氏子総代により南神苑の土俵の準備を行いました。大会当日の開会式直前に雨が降り出し試合会場を絵画展会場の参集殿にて開催しました。

雨で参加者が少ないのではと



心配もありましたが飛び入り参加の児童もおり70名の力士たちが声援の響く中、熱戦を繰り広げました。

信濃雅楽会定期演奏会

去る6月22日に穂高交流学習センターみらい「多目的交流ホール」において、第1回信濃雅楽会定期演奏会を開催しました。

当会は穂高神社の祭典楽を奉仕する団体として、大正時代に氏子有志らによって穂高神社雅楽会が設立され、戦時中には一時衰退しましたが、昭和24年の遷宮祭に再発足し会員の努力により今日まで、穂高神社をはじめ県内の神社祭典における雅楽奉仕はもとより神社界に大きく寄与してまいりました。このような中において、若い神社関係者が熱心に練習に取り組み、日々の成果を披露する場として、このたび定期演奏会を開くこととなりました。

また、今回の舞に用いる面は会員が腕を振るい制作するなど装束の貸し出しに頼らずに開催した演奏会では初めての試みでした。



当日は、会員25人が参加し管絃「平調音取」、「平調越殿楽」、「盤渉調越殿楽」、神楽「朝日舞」、舞楽「胡蝶」、「納曾利」を演奏しました。今回の定期演奏会の目標である面を付けての納曾利を舞うことが恙なく舞い納めることが出来ました。また、今回の反省点を来年の定期演奏会に活かし会員一人一人の技術向上と研鑽を図りたいと思います。

当日は雨にもかかわらず、200名程集まり盛会に終わり厚く御礼申し上げます。

第28回 二十人展開催される

11月1日〜3日に穂高神社参集殿において第28回二十人展が開催されました。今回も、安曇野名譽市民である高橋節郎先生(故人)をはじめ25名の作家が漆芸、ガラス細工、家具などの力作34点が展示されました。また、方円流煎茶道の方々による煎茶の振る舞いが行われました。期間中は好天にも恵まれ、多くの来場者が一つ一つ真剣な眼差しで作品を見ていました。

来場した方は「今年も色鮮やかな作品が出品され、会場が華やかでした」と数々の作品に感銘していました。



新そばと食の感謝祭

11月16、17日、穂高神社境内にて第1回信州安曇野「新そばと食の感謝祭」が開かれました。

新そばコーナーや物産コーナーなどがあり、イベントでは県警音楽隊演奏、市内中高生による吹奏楽演奏、宮城県石巻市雄勝法印神楽奉納などもありました。



新年会承ります

鍋プラン (お1人様) 3,000円から

- ・旬の鍋物
- ・としみ
- ・天ぷら
- ・焼きもの
- ・小鉢
- ・そば
- ・その他



(写真はイメージです)

※個人盛・感込み料理
お客様のご希望に応じます

飲み放題 2,000円 (お1人様)

ビール・日本酒・焼酎
ソフトドリンク

※冠婚葬祭・各種イベント
承ります。

穂高神社参集殿
なごみてい
『和美庭』
TEL 0263-82-0118

祝60周年 穂高神社の交通安全

※交通安全祈願のルーツ

安曇野の名称になった安曇族は古代福岡市志賀島と博多湾一带にあり、大陸との交易を行うにあたり、航海安全・交易成就を安曇族の祖神（おやかみ）である海の神、綿津見神・穂高見神に祈った。

穂高見神・綿津見神を祀る当神社にあっては昭和の御代になると交通安全・産業発展の守り神に変化したのは必然的なことであつた。

※全国に先駆けて交通安全祈願

平成26年は——
昭和29年元旦、ご家庭と一般企業へ広めて60周年

（昭和25年に一部企業と開始して65年）

当神社で「自動車のお祓い」を受けることが、自然の流れとなつた。全国に先駆けてのことと思われまふ。

※交通事故・飲酒運転撲滅、企業繁栄・家庭安泰は穂高神社の願いです。



平成26年 全てのご祈願の皆様へ! 感謝を込めて粗品を進呈いたします。

新春祈願・交通安全祈願大祭の御案内

新しき年を迎え 一年の幸せを願ひ

今年も残すところあとわずかととなり、何かと気ぜわしい日々をお過ごしのことと存じます。

今年は、記録的な猛暑や経験したことのない豪雨、台風に見舞われ災害により作物にも影響を及ぼした自然の恐ろしさを改めて知らされる年でありました。又新たな経済政策による発展と、東京オリンピック決定に日本のすばらしさが世界に認められる歓喜に湧いた年でもありました。

人は太古より自然がもたらす恵みと災いに感謝と畏怖の祈りを捧げて参りました。そして現代でも、天変地異や自然現象などには、神々のちからが存在していると思われています。最も身近な車でさえも運転手の注意力は勿論、神様の御守りをいただき安全と、その先の御利益が受けられると信じられています。

年が改まり、ご家族・会社社員の皆様には、穂高神社の御加護を頂かれ、これから一年間の安泰と向上・願いの成就をお祈りにお越し頂きますよう、謹んで新春祈願大祭の御案内を申し上げます。

一、期間 一月一日（八日）受付九時～十六時

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、試験合格、学業成就、病氣平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産、お宮まいり、初誕生祝い、災難除、職場安全、子宝、良縁祈願、夫婦円満、歩行安心、お礼参り、人形供養、もののけの祓、他願い事。

一、祈禱料

普通祈禱 五、〇〇〇円 追加祈禱 三、〇〇〇円
 特別祈禱 一〇、〇〇〇円 追加祈禱 七、〇〇〇円
 交通安全祈禱

普通祈禱 一台につき 五、〇〇〇円

（二台目から三、〇〇〇円）

特別祈禱 一台につき 六、〇〇〇円

（二台目から三、〇〇〇円）

平成二十六年 一番祈禱のご案内

「ひとりひとりが受けられる成就の鈴被い」

年明け午前0時の時報とともに、初春のよこごびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする歳旦祭にひき続いて、新年の一番祈禱を斎行致します。二年参り・初詣には様々な願いを胸に祈られる事と存じます。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけるよう、**新年の巫女舞を加えた一番初めに一度しか行われ**ない大変貴重な御祈禱です。

御祈願内容のすべての願いを込めて御祈禱致します。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メールにてご予約下さい。

当日申し込みの方は、31日午後11時より受付致します。ご予約済の方は午後11時45分に拝殿授与所までお越し下さい。尚、ご参列不可能な場合は御神札等郵送致します。

【八方塞り:はっほうふさがり】

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞りの年で、周囲八方ふさがれ、八方どの方位方面に向かってもしも不吉な結果を生じ障害があり、手の打ちようのない不安定な年廻りとされています。

九星年盤

平成26年 八方ふさがりの方 (四緑木星・男女)



■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

昭和8年	昭和17年	昭和26年	昭和35年	昭和44年	昭和53年	昭和62年	平成8年	平成17年	平成26年
82歳	73歳	64歳	55歳	46歳	37歳	28歳	19歳	10歳	生れ年
昭和8年	昭和17年	昭和26年	昭和35年	昭和44年	昭和53年	昭和62年	平成8年	平成17年	平成26年
82歳	73歳	64歳	55歳	46歳	37歳	28歳	19歳	10歳	生れ年

四緑木星

崇敬会通信

崇敬会総会を去る9月8日(子供祭の日) 穂高神社参集殿 に於いて開催され、会員35名の出席を賜りました。議案はすべて満場一致にて可決頂きましたこと、衷心より御礼申し上げます。



穂高神社崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする二十年に一度御本殿一殿を造り替える式年大遷宮祭と北アルプスのふもとの安曇野が心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。

海の恵みと山(陸)の幸を併せ持った御神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けますよう「穂高神社崇敬会」のご案内を申し上げます。一人でも多くの皆様方にご入会頂けますようお願い申し上げます。

会員種別入会金(年会費)

- 一、特別会員 二、〇〇〇円
- 一、個人会員 三、〇〇〇円
- 一、法人会員 五、〇〇〇円
- 一、名誉会員 一〇、〇〇〇円

崇敬会新入会員

個人会員

(平成25年4月1日〜平成25年10月31日)

名誉会員

- 宮崎 啓洋雄
- 山崎 東洋雄
- 原崎 福雄
- 穂高 伸高
- 竹内 穂高
- 尾川 喜代孝
- 井藤 由理香
- 伊藤 達彦
- 鈴木 義之夫
- 黒田 義之夫

法人会員

- 井口 喜彰
- 降旗 喜彰
- 小濱 喜三郎

特別会員

- 株式会社 柿沼商店
- 日岐 善久
- 青柳 倫行
- 矢花 十四男
- 平川 博夫
- 保尊 勉
- 寺嶋 文雄
- 望月 宏明
- 宮下 優
- 小平 しげ子

平成25年度より新たに「特別会員」を設けることとなりました。

◎特別会員

・穂高神社氏子(安曇野市穂高 等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区在住)に限る。

・会費 二〇〇〇円

・記念品: 会員証、御神酒あめ、他(お札、干支絵馬、神社だより「安海津美」はありません)

・多くの方の入会をお待ちしております。詳細は穂高神社崇敬会事務局(82-2003)までご連絡下さい。

厄除・八方除の特別祈禱祭のご案内

平成26年厄年を迎える方、八方塞りの方はお祓いをお受けになり、大神様のご加護のもと平穏無事で明るく充実した生活を送り下さい。

〔厄年・やくとし・十三参り〕

古来より人生において心身の節目や責務の重き時期で事故、病氣、災難など障害の起きやすい年廻りとされています。

〔厄年(覧表)(数え年)〕

女性	男性	
	前厄	本厄
61歳	25歳	平成3年生
37歳	大厄42歳	平成2年生
大厄33歳	19歳	平成元年生
昭和30年生	61歳	昭和49年生
昭和54年生	昭和30年生	昭和48年生
昭和58年生	平成9年生	昭和29年生
昭和57年生	平成8年生	昭和28年生
昭和53年生	昭和58年生	昭和27年生
昭和52年生	昭和56年生	昭和26年生
昭和29年生	昭和52年生	昭和25年生
昭和28年生	昭和28年生	昭和24年生

〔高齡の厄年(数え年)〕

産まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現代では長寿祝を迎えた年(古希70歳・喜寿77歳・傘寿80歳・米寿88歳・卒寿90歳)の翌年が高齡の厄年となります。

男女とも		年齢(祝歳の翌年)	生まれ年
91歳	71歳		
89歳	78歳	昭和12年生	
81歳	81歳	昭和9年生	
81歳	81歳	昭和12年生	
81歳	81歳	昭和15年生	
81歳	81歳	昭和19年生	

厄除・八方除の特別祈禱祭は

1月11、12、13、14、15日に実施致します。

穂高神社写真コンテスト

作品募集

安曇の祖神とする穂高神社本宮、上高地奥宮、奥穂高岳山頂に鎮座する嶺宮にかかわる風景・祭典など四季折々の穂高神社を映し出す作品を募集しています。

小中学生の部もありますので応募お待ちしております。

詳しくは穂高神社ホームページをご覧ください。

各祭典行事

大祓式 平成25年12月31日午後3時

除夜祭 午後11時30分

元日祭 平成26年1月1日午前零時

節分祭 2月3日午後4時

奉射祭 3月17日午後3時

秋葉社宵祭 3月23日午後8時

本祭 24日午前10時

勸学祭 3月31日午前11時

末社祭 4月8日午前10時

本祭 4月17日午後8時

本祭 18日午前10時

穂高霊社宵祭 4月19日午後8時

本祭 20日午前10時

菅原社宵祭 4月24日午後8時

本祭 25日午前10時

節分豆まき

平成26年 年男・福女募集

来る平成26年2月3日午後4時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料・・・5,000円

神楽殿より福豆(景品付き)

福銭をまきます。皆様の御

参拝をお待ちしております。

神社の豆知識

参拝の際に鳴らす鈴について



参拝の際に鳴らす鈴について多くの神社には、拝殿中央、ちよほど賽銭箱の真上あたりに、銅や真鍮製の大きな鈴が吊られており、この鈴に添えて麻縄や紅白・五色の布など垂らして、参拝者はこれを振り動かして鈴を鳴らし、お参りします。

新人職員紹介



ひ 彦 小 平 和 41歳 安曇野市穂高

この度、5月21日付けにて、長野県護国神社より穂高神社に奉職することになりました。実家が近く、小さな頃から馴染みのあるお社で、そこに奉職させていただけることは、本当に有り難いことでもあります。長野県護国神社では13年間奉職し、神職としての心得は一通り理解しているつもりですが、実際の社

もうけられた鈴は、その清々しい音色で参拝者を敬虔(けいけん)な気持ちにするとともに参拝者を祓い清め、神霊の発動を願うものと考えられています。また、巫女が神楽舞を舞う際に用いる神楽鈴も同様の意味によるものです。古くは巫女が神楽を舞うことにより神憑りして人々に神の意志を伝えており、このために必要なものとされてきました。

今日では巫女による神楽舞が優雅な形に定められ、神憑りというよりも神慮を慰めるものとしての意味合いが強くなり、神楽舞の後に参拝者に対して行わ

務となると分らないことも多く、日々職員の皆さんにご指導を頂いているところであります。穂高神社では氏子総代の方々はもちろんのこと、地域社会との繋がりが特に大きいところだと感じております。それ故、地域の心の拠り所であるという自覚を持ち、一刻も早く社務に慣れて皆様のお役に立てればと思います。

以前奉職していたお社とは御祭神は違いますが、神明奉仕の心は変わりません。一生懸命奉仕して参りたいと思いますので、一層のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

編集後記

新そばと食の感謝祭たくさんのお客様で賑やかでした。

長野県観光PRキャラクター「アルクマ」や安曇野のキャラクター4体も来ていました。「raisun」「あぶふる」「そばっぴ」「わさっぴ」などのキャラクターも可愛いかったですよ。